

# 快適なスライド作りと配信



Google Slides でスライドを作ってきたが、問題があることには気づいていた

- PDF がポータブルで好きだが、誤りがあったときに直すのが面倒
- ローカルやクラウドにバラバラにあってどこかにいってしまふ。今まで作ったものは散逸して残ってない

これらを解決する

背景 ...

Q. そもそもなぜスライドにするか？

# なぜスライド？

- 読む側が最小限の時間 / 労力で把握できる
  - 読んでもらうためには数分ですぐ理解できなければならない
  - 本を読み通せるのは、作者と出版社の信用と努力があるから
- 制約が生み出す表現
  - 文字数の制約がある
  - いかに整理して直感的に伝えるか？を考えるのを強いられる

これらを踏まえて、スライドツール  
には何が必要か？

# スライドツールに求めること

- WYSIWYG ができる
  - 画像の再配置 / 縮小拡大をやりたいから
- 再編集できる
- コマンドラインでPDFにエクスポートできる
  - スライドを変更するたびに再エクスポートを手動でしたくない
  - PDFは配信に便利である
- 元データをローカルに保存できる (Git管理できる)
  - コマンドラインやCIを自由に設定できる



なので、ローカルマシンで動作するスライド作成ツールが候補になる

- PowerPoint
- LibreOffice Impress
  - Linux で利用しやすいので、これにした

# 作成から配信の流れ

- 普通にスライド作成、保存 (ODP)
  - ※ LibreOffice の標準フォーマットは ODP
- 変換 **\$ libreoffice --convert-to pdf \*.odp**
- 生成した PDF, 元ファイル ODP をコミット
- GitHub Pages で配信
  - [https://kijimad.github.io/roam/pdfs/index.html?file=20250201\\_slide.pdf](https://kijimad.github.io/roam/pdfs/index.html?file=20250201_slide.pdf)

# 配信



ページ数を指定できたりもする

[https://kijimad.github.io/roam/pdfs/index.html?file=20250201\\_slide.pdf&page=4](https://kijimad.github.io/roam/pdfs/index.html?file=20250201_slide.pdf&page=4)

# まとめ

作成 → 配信がスムーズにでき、修正も楽になった。